

講演会のご案内

『原発都市～歪められた都市開発の未来～』、『原発「廃炉」地域ハンドブック』などの著書もある乾 康代さんに、原子力発電の危険性についてお話していただきます。

テーマ：「原子力と都市計画：その危険な歴史を語る」

日時：2025 年 3 月 10 日（第二月曜日）18:30～20:30

会場：千代田区万世橋区民館 8 階会議室 会費：500 円

講師：乾 康代（いぬい やすよ）さん

（元茨城大学教授・新建築家技術者集団代表幹事・『日本の科学者』編集委員長）

20 年間、東海村で調査をつづけてきました。これほど長く通ったフィールドは他にありません。まだ、私が大阪にいたとき、臨界事故を起こした JCO が住宅地のなかにあって多数の住民が強制避難をさせられたという報道に接して、村の都市計画が原子力に屈服しているイメージを持ちました。今回の講演は、国策によってつくられた原発都市・東海村のあり様を、大日本帝国の植民地統治から解いていきます。地域支配は今日も継続しており、支配関係はより強化されようとしています。原子力と都市計画の歴史を知れば、人間の定住環境のなかに原発を置くことなどできないことは、すべての人に理解されるはずです。

主 催：NP0 都市住宅とまちづくり研究会（としまち研） 後援：新建東京支部

お申込みは、としまち研：杉山まで メール：sugiyama@tmk-web.com

電 話：03-5207-6277



会場：秋葉原駅電気街口から徒歩 3 分